

みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱい森

# 能ヶ谷西緑地だより

2022年 6 月 1 日号 269 号 能ヶ谷西緑地・樹の会

## 【6月の予定】



- ◆6月4日（土）臨時作業 9:30～（時間注意！）
  - ◆6月11日（土）（雨天翌日）
    - ・小田急住宅下 草刈り
  - ◆6月25日（土）（雨天翌日）
    - ・花広場 草刈り
- \* 9:00 現地集合（9:00～11:30）

- ◆6月4日（土） 10:00～12:00
  - やまゆ連・手作りカフェー
  - 平和台集会所
 （コロナ状況によっては中止の場合もあります）

問合せ：伊藤（735-8623）  
 どなたでも参加自由です。  
 作業には汚れても良い服装でおいでください。

※※※※※※ 緑地だより ※※※※※※

5月7日（土） 小雨 参加者 4名

本日は雨で作業はできないと思いながら緑地へ行きました。それでも私を含め4名ほどが参加。折角来たのだからとカシナガ虫で被害にあった木を中心に回りました。太い2本のナラは新しい葉が出ていない状態でした。そのうち1本は生活道近くで、太い枝が落下しないか心配です。役所へ報告することで、本日は解散しました。（伊藤）

5月8日（日） 曇り 参加者 8名

連日天気がすっきりしません。今日は桜広場の作業を行いました。草刈りと竹の伐採です。草刈りは2台の刈払機で、フェンス回りは鎌で順調に進みました。竹林はほとんど天狗巣病被害に遭っています。枝がコブ状になり昔の人が天狗の巣に例えたそうです。今回は周辺の竹を伐採しました。この病気は菌で広がるため、切った竹は中央広場まで運びました。

重労働でした。作業後、ストレッチを行い体をほぐしました。（伊藤）

5月21日（土） 臨時作業 小雨 参加者 9名

午前9時は小雨の空模様だった。

平和台の児童公園から緑地に入って、中央広場に進む小道にアズマネササが繁茂していたので、軽く刈り込んだ。



階段補修作業

その先の広場に下りる階段は、雨が降るたびに土砂が流れ落ち、一段一段が斜めに下がっている。今までに何人もがこの階段から滑り落ちたり、踏み外したりで危険この上なしだ。これ以上のけが人を出さない為に、この階段の修繕を急いで行った。

南斜面で隣接地に飛び出している枝を剪定しながら梅を収穫。11時過ぎ、雨が強くなってきたので、早々に解散した。

（かつた）

5月28日（土） 晴れ 参加者 10名

今日の作業は、南側斜面の草刈りでした。草刈り機二機で刈り、機械が入りにくいところはカマで除去しました。梅雨の前に早めに刈り取っておかないとどんだんのびてしまいます。

今日は「森林インストラクターの会」の方が、緑地の見学にこられました。十数名が三組に分かれ順次訪れました。中央広場でお茶の準備をしていたMさんが対応しました。堂々と対応していただけたようです。見学は事前に会長に連絡があったとのこと。よい宣伝になりました。

軽くストレッチをしてお茶にし、散会しました。

（設楽）



ヤブヘビイチゴ

【やまゆ連・手作りカフェー】

### 芭蕉の糸作り

5月7日（土） 平和台集会所

コロナ感染予防のためお休みが続き、久々の5月再開でした。時間はたっぷりあったのに手元に何も制作中の物がなく、0さんが用意して下さった芭蕉の繊維で糸撚りを教えて頂きました。

芭蕉の繊維は見るのも触るのも初体験。高級品だけあって艶があり、はりのある手触りです。

糸撚りは無器用なせいで、なかなか上手くいきませんでした。

私はネックレスの鎖状の物を作りました。まだ仕上がっていませんが、自然素材なので肌に心地良いアクセサリーになると思います。0さん有り難うございました。

カフェ・メニュー：落の砂糖がけ

（藤井）



芭蕉糸のコースター

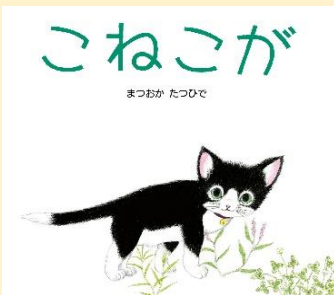


芭蕉の糸撚り

【緑地を楽しむ本】

### 『こねこが』

まつおか たつひで  
めくるむ



表紙の子猫のかわいらしさに、思わず手に取ってしまいます。ページをめくると…こねこがお散歩しています、今日はどんな友だちと出会えるかな？ チョウチョウ、カタツムリなどに会うたびに

子猫の目がほんとうにうれしそうに見ひらかれます。ワクワク、ドキドキ、これこそセンス・オブ・ワンダーですね。大喜びで一緒にあそぼう！と。ところがみんな逃げていってしまって、最後はヒヨコたちのおとうさんに追いかけて散々。でも最後のページ、お母さんにぎゅっとされている時のこねこの至福の表情が、私の心までも温かいもので満たしてくれました。このページを見たら、どの子もお母さんにぎゅっと抱きしめ

てもらいたい、そしてこの本を読んであげているお母さんなら子どもをぎゅっと抱きしめてしまうことでしょう。

道ばたの小さな虫や雑草に至るまで丁寧に正確に描かれています。どこにでもある、普段見過ごしてしまう虫や野草たちにも注がれる著者の優しい眼差しを感じました。

見ていると私もお散歩に出たくなりました、今日は何に出会えるでしょう。

めくるむという聞き慣れない出版社です、調べたらまだ創業2年目という出版社でした。子どもの芽をくるむように大切に育てていこうという名前だとか。子ども達に、優しい本をいっぱい届けて欲しいですね。

（小川）

## 緑地の花

### 【緑地に咲く】ポリジ (和名 ルリジサ瑠璃苺)



ムラサキ科の植物でハーブの一種。全草が白い毛でおおわれ、特に楕円形のくすんだ緑色の葉は、触ると痛いほどの細かい毛があります。マドンナブルーと呼ばれる青色で星形の花を咲かせます。花はスープやサラダの付け合わせに。人を奮励させる強壮効果があり、ワインと一緒に飲むと気が湧いてくると言われています。

(長谷部)



ノアザミ



ノイバラ (右上の花にクマバチ)

### 【緑地の樹】

#### ナツグミ(夏茱萸)

プロフィール:グミ科 グミ属の落葉小低木  
花広場の奥にあります。

花広場の奥に、いつもは目立たないけれど、今だけはちょっと目を引く木があります。赤い実がついているから。

おいしそう！と一つ採って早速口に入れてみました…残念ながら、見た目ほどはおいしくなかったのですが。

今は初夏 (もう夏みたいです)、それでこの木はナツグミだとわかります。グミのネーミングはとっても簡単で、夏に食べられるのはナツグミ、秋に食べられるのはアキグミ。夏よりもっと前に食べられるのはナワシログミ。食べることに特化しているのです、



グミの実、おいしそう！



グミの葉、右が表、左が裏

きっと私みたいな食いしん坊が名前をつけたのでしよう (もう少し熟せばおいしかったのでしょうか)。

グミの葉は裏が目立ちます。表は普通なのですが、裏は銀白色に輝いて見えます。とても特徴的なので、葉っぱでグミだとわかります。これは銀色の鱗状の毛が密生しているからだそうです。

(小川)

- ◆ 緑地内は自然緑地として保全をしています。怪我しないよう十分に気をつけて楽しんでください。
- ◆ 「緑地だより」編集：小川 TEL/FAX：796-1801 (ご意見がありましたら小川までお寄せください)

「能ヶ谷西緑地・樹の会」のHP (毎月末に更新)  
<http://home.a03.itscom.net/ryokuchi/>  
配信希望の方は、小川まで(ogamariko@gmail.com)